

みる

九月八日から翌月まで

一か月間の催し物案内

トビタ東映

10日-16日 新人新りお
勝(宮園純子・大信田礼子)
本忍囃こそわが人生(松方
弘樹・佐藤友美) 本たっぱん美女物語(女の中
の女(研ナオコ))
17日-23日 沖脱獄(島殺
人(松方弘樹・梅宮辰夫) 本東京道炎上(丹
波哲郎) 本男はつらいよ(寅次郎相合い(今(渥
美清・信賞千恵子・沼田ルリ子)
24日-30日
本任侠花一輪(多岐川裕美・藤巻世) 本アフリ
カの光(萩原健一・高橋洋子) 本道場破り(長
門勇・丹波哲郎・加藤剛)

トビタミネマ

6日-12日 本ロンゲスト
・ヤード(バート・レイノル
ズ・エディ・アルパート)
本ゲッタウェイ(ステイプ・マックウィーン)
本恐竜時代(ピクトリア・ベトリ、パトリック・

トビタ映劇

13日-19日 本007ノサンダーポール作
戦(シヨーン・コネリー、ルチアナ・パルツチ) 本
人間解剖(生殖の神秘と死の恐怖) 本シンドバツ
ト七回目の冒険 20-26日 本ドラゴンへの道 本
盗賊 本残酷への地獄 27日-10月3日 本ジャガ
ーノート 本大侵略 本クレイジーボーイ・ミワイル
珍作戦

トビタ映画

10日-16日 本お姐ちゃんお手ざわ
らかに(和田アキ子・森昌子) 本
性の味見は自由(女体仕出し屋)
17日-23日 本主婦の体験レポート(続お
んなの四畳半(宮下順子・結沢萌子)
17日-23日 本ゆななき
女性殺の情事(宮崎あすか・山田弓子)
24日-30日 本セシドキメント(心中
(谷口香織・中島葵) 本続桐かある 本制服の性巻

電話649・0904
入場料三三〇円
ム・コートネイ

狼の旅と多婢

菅原立太の東映新重宝。狼どきの
仁儀とトビタ東映に見に行きま
てん。その日は、日曜日で、こかも
台座が来る、たんで言われていて、
映画館は大人満員でした。
この映画で、新重宝のモデルとい
われるぶったくりの彦はんは恋をこ
はる。オキミというお女郎はんを足
抜きさせて一語に住む。それきり、
二人でいいいいいい言ってるのんも
柄の固、彦一が聞かずにいいいいに相
手を殺してしまふ。彦一はそのため
旅に出ることになる。一本当は親分
の所へ相談に行き、身替りを出して
二日程で自由の身になる。そうとは
知らないオキミはんは、彦一はんが
家を出る時、きつと帰って来る、家
を誰れずに待っててくれ、と言うて

はったにモカかわらず、足抜きを
伝ってくれた女術の清水に、彦一死
んだ。といわれ、家を出てまたお女
郎はんになりはる。
ここで突然ながら、万葉集の歌
を一つ。秋の野を にははす枝は
咲けれどさへ見るころなご 多婢
にこれあれば この歌の意味なんての
はどうでもよくって、ともかく、今
から一千二百年ぐらい前は旅のこと
を多婢と言ったこと。そして、この
歌を作った人はこの時、鬼うんのい
ない旅をしている。とされているが、
それはこの歌のどこから判るのか、
という二つのことが彦一はんが旅に
出ることとかかわりがある。
多婢という字は、女を多く重める
と分解、解釈することが出来る。昔
のテフテフ歩いてする旅はえらく日
数がかりきのすごく疲れるものだ

13日(19日) ムのワゴールドフィンガー(シヨンス
ネリー、ゲルト・フレイベン) ム舞場にかける橋(ウイ
リアム・ホールデン、アレック・キネス) ムならざ
者たち(ピンセント・エドワーズ、ジャック・パラス)
20日(26日) ムグラインドインブルー(ロバート・
フレック、ミッチェル・ライアン) ムセンチユリア
ン(シヨージ・C・スコット、ステイシー・キーチ)
ムレッド・サン 27日(10月3日) ム太陽を盗め(シ
エームズ・コバーン、シエームズ・メーソン) ム
フロフェショナル(ハート・ランカスター、リー・マ
ーピン) ム冒険又冒険 4日(10日) ムのワグ死
ぬのは奴らだ(ロジャール・ムーア、シエーン・セイモ
ア) ムフラックライダー(シドニー・ポワチエ、ハ
リー・ベラフォンテ) ムレッドパロン
毎日ホール 13日 ムサンダカン(八番場館・望郷
(田中絹代・高峰秀子)二時/六時秀
入場料六〇〇円 分 ム喜びを悲しみ(若原月(佐田啓
二・高峰秀子)四時 14日 ム華麗なる一族(仲代
達矢・京マチ子)二時/四時半 ム他人の顔(仲代達
矢・京マチ子)二時半

三越劇場

12日 ム関東無宿(小林旭・伊藤弘子)
16日(16日) けんかえれじい(高峰秀子)
17日(17日) 浮城物語(若原月)
25日 ム砂の女
26日 ム他人
30日 ム燃
入場無料 澤野順子(17時/21時) 25日 ム砂の女
入場料三〇〇円 指導 勝龍治・友幅出流・三橋美智夫
16日(30日) ムはなごさ(二代目研二郎と台風シヨ
10月1日(20日) ム大日方通(本部・尾崎市枝 瀬北
新町寿産

カク

どろも娯楽橋というのは、みる、のびっかりで自
分でやれることか一つもない。と気付いたので今
回は誰にでも出来ることを教えよう。もっともこん
なことは今更人様におそめるまでもなく御存知だと
は思うが。用意するものは、身体、とくに頭と手が
重要、そして参考書。手順。先ず、股の間に手をも
って行き、踵へ根元に毛のあるやつを……。

った。だから女の旅人は少く、専ら
が留守の間家にシツとこっていた。更
話も郵便もないから峠で別れてから
の消息はまったくつかめなかった。
旅に出ている男は毎日新奇なこと
に出会い日のたつのを苦にしている
ヒマはないだろうが、毎日神棚に手
をあわせるほか気のまぎらぬよう
のない女は、日がたつにつれてオロ
カに重くくなっていく。
彦一は旅にでてお茶と変わる
ことはなかったろう。だが、オキミ
はんは清水にたまたまされてこまう。旅
に出ていける男より、家にいる女の
方がより多く重く、オロカになる。
彦一はんとオキミはんは二人で所
帯を待った。旅は彦一はんが一時所
帯を離れるがまた所帯に戻ることに
よって終わるはずだった。ところが
彦一はんは帰らぬ死出の旅路につい

たという。となると再び所帯を持つ
という計画は変更しなければならな
い。こう考えたオキミはんは家を出
る。そう一日か二日待てば再び二人
で所帯が張れたのに。
二人はその後相見いながら会う
ことはなかった。いざ初期の目的を
達せられなかったコダワリから会う
ことが出来なかった。
この二人は旅を家から出て家に帰
って来るものだと考えていた。結果
的にオキミはんの行動により所帯が
解消した。だから、彦一はんの旅は
女を多く重める多婢だったといえる。
ところで、土工・玉舌という人
がいる。玉舌はんは北海道の飯場か
ら女旅屋、又、飯場へと夕べをた
んだ。帰り道を考えない夕べをた
んだ。旅、多婢、それともそれは夕
べではなく、北海道を家とくた散歩